

## 「龍谷の森」里山保全の会 2019年度活動報告

「龍谷の森」里山保全の会・副代表世話人 龍谷大学工学部・実験助手

里山学研究センター・研究員

林 珠乃

「龍谷の森」里山保全の会・代表世話人 龍谷大学工学部・教授

里山学研究センター・研究員

宮浦 富保

2019年度の「龍谷の森」里山保全の会は、月に1回の定例活動日間に間伐、薪作りなどを実施した。毎回の活動に龍谷の森近郊で農業活動を行う龍谷大学公認サークル「龍谷Farm」のメンバーが参加し、里山活動を介した交流を持つことができた。また、寿木材工業等の他団体の里山保全活動をサポートすることで、里山保全活動の普及に努めた。6月には会員に向けてニュースレターを発行した。7月13日には林内で伐採した竹で樋を作って「流しそうめん大会」を開催した。児童を含む幅広い年代の参加者に瀬田隣接地の魅力を伝えることができた。3月には椎茸のホダ木作り大会を計画している。

活動日	活動内容	参加人数
2019年4月13日	伐採作業、芽欠き、寿木材と協働	8
2019年5月11日	薪割り、枝葉の処理	6
2019年6月8日	総会	11
2019年7月13日	流しそうめん大会	6
2019年9月14日	草刈り、道路整備	9
2019年10月21日	ホダ木用の樹木伐採	7
2019年11月9日	伐採作業、枝葉の処理、寿木材と協働	7
2019年12月14日	薪の処理、腐葉土作成	7

# 「龍谷の森」里山保全の会ニュースレター

2019年5月27日発行 第3号

令和初の里山保全の会ニュースレターをお届けします。

4月から再放送している「おしん」が話題になっていますが、みなさんご覧になっていらっしゃいますか？苦勞の多いおしんの生活のはしほしに里山のめくみを生かした暮らしが描かれており、私は毎朝欠かさず見えています。

## 明治時代の薪取り

「龍谷の森」では、里山保全の会の会員のみなさんにより多様な里山保全活動を行っています。中でも、大風等で倒れたコナラや林道整備の際に伐採した木を活用した薪作りは、最も活発に行われている作業の一つで、会員の皆さんは自然の中で体を動かす心地良さを感じながら取り組んでくださっています。薪は、化石燃料に依存した現在の私たちの暮らしではなじみの薄い燃料ですが、最近では薪ストーブ愛好家の増加に見るように、価値が見直されつつあります。かつては、どの家でも薪を使っていた、とのことですが、里山での薪取りはどのくらい一般的なことだったのでしょうか？『滋賀県物産誌』は、明治11（1878）年頃に滋賀県にあった1,397村の人口・産業等について要約された資料です。村内の山林の利用について採薪に関する記載がある村とない村の位置を地図化したものが図1です。これを見ると、ほぼすべての村で人々が里山で薪を探っていたことがわかります。現在「龍谷の森」で行われている薪作りは、普通でなくなってしまうものに新たな価値を与える再生活動と言えるのではないのでしょうか。（林珠乃）

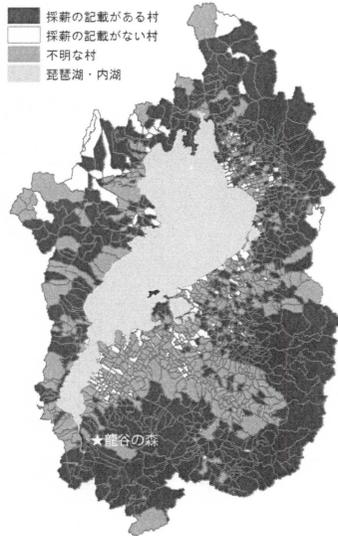


図1. 「滋賀県物産誌」に見る明治初期の滋賀県下での採薪の状況

## 今後の活動予定

2019年6月08日（土）10:00～ 総会  
 7月13日（土）流しそめん大会  
 定例活動日は毎月第2土曜日です。作業小屋前に9時30分に集合して活動を行います。ご質問がある方は、林 (tamano@rins.ryukoku.ac.jp、090-9715-0351) までお問い合わせください。

## ヌタバを訪れる動物たち

「龍谷の森」がある瀬田丘陵の地層は「古琵琶湖層」といわれています。かつてこの地は琵琶湖の底だったということです。瀬田丘陵の地面近くの土は、前期更新世（約259万年前から78万年前）に堆積したと考えられており（林2016）、砂や礫が多く乾燥気味の土壌条件であるのが特徴です。そんな中、とこころに粘土が集積している場所があります。粘土層のために水が溜まりやすく、動物たちが泥浴びをするのに適した場所です。寛場（ヌタバ）と呼ばれています。沼田場と書く場合もあるようです。写真1～4は、そのようなヌタバに赤外線センサーのカメラを設置しておいて撮影したものです。イノシシの家族が頻りに訪れて泥浴びをしています（写真1）。体についたダニなどの寄生虫を落とすために行っている行動と考えられています。ヌタバの近くには、根元付近に白い泥が付着している樹木が見られます。イノシシが体をこすりつけて泥をこすり落としたのです。泥のついている部分の高さから、イノシシのサイズを推測することができます。



写真1. ヌタバにやってきたイノシシの家族

ヌタバを利用している動物はほかにもいます。フクロウ（写真2）、ハシボソガラス（写真3）、タヌキ？（写真4）などです。フクロウやカラスが何のためにヌタバにやってくるのかはわかりません。もしかすると、泥を巣の材料として利用しているのかもしれない。（宮浦富保）



写真2. フクロウ



写真3. ハシボソガラス



写真4. タヌキ？

## 「龍谷の森」里山保全の会 総会を開催します。

日時：2019年6月8日（土）10時～14時 集合場所：龍谷大学内バス停（10時集合）持ち物：昼食、飲み物  
 午前中は森の整備等を行い、昼食を取りながら総会を開きます。午後は森の散策をします。雨天の場合は瀬田学舎7号館環境実習室1で総会のみを行います。